

の人は、自分たちに關係のないこととして切り捨てました。そしてそのことが軍国主義に対して批判の声を出不いようにしてしまつたのです。その結果、どれだけ多くの若い人が海で、北満で死んでいったことでしょうか。

私たちが、いまの社会の価値観に疑いを持たずに、その価値観に順応して子育てをしていったならば、やがてまた同じ過ちをくり返すことになるのではないのでしょうか。そうならないために、なんとか、みなさんも力を合わせてほしい。そうお願いしたくて、きょう、ここにまいったのです。

(主婦)

### 桜川とその附近の史蹟を探る (第八回)

永山正

#### (一) 東城寺

新治郡新治村東城寺にある。平安初期伝教大師の高弟最上人(常陸の国真壁郡関本の人)が比叡山根本中堂を模して開いたといわれる天台宗の寺で、最盛時には、堂塔七八、僧兵数百人を擁し、常陸最大の寺として繁栄した。本尊は薬師如来である。小田氏の治下に入るに及び真言宗に改めさせられた。もと現在地よりも高い堂平にあつたが、応和二年(九六二)現在地に移つた。小田氏と佐竹氏の戦のとき僧兵が小田方に味方したので佐竹軍に焼かれてしまい、今の建物は徳川時代のものである。薬師堂裏の九社権現堂の裏山がくずれ、銅製の経筒(保安三年銘、一一二二年)と鏡が出た。現在東京国立博物館に所蔵されている。仁王門内の仁王像、本尊薬師如来(応安七年銘、一三七四)石造灯籠(室町時代作)結果石(建長五年銘)等いづれも県指定文化財である。

#### (二) ゆうもあ村

ゆうは英語のあなた、もあは、フランス語の私の意味